

日本ヒューマンヘルスケア学会第7回学術集会 会長挨拶

一般社団法人日本ヒューマンヘルスケア学会 第7回学術集会の会長を務めることになりました島根県立大学看護栄養学部看護学科の岡安です。

第7回学術集会は2024年11月9日（土）に、島根県出雲市にて開催します。

一般社団法人日本ヒューマンヘルスケア学会は、設立されてから比較的まだ新しい学会ですが、保健・医療・看護・福祉に関する学術的研究の発展と教育の普及を図り、健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することを目的に発足した学会です。

2019年から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前回大会まではオンライン開催でしたが、第7回学術集会テーマを「ヘルスケア専門職教育における対話のすすめ」としたこともあり久しぶりに対面で開催することとしました。

近年、ヘルスケア専門職の対話力の重要性が増しています。その背景には、多様化した社会や人々の価値があり、「人生会議」など個別的なヘルスケア・ニーズへの対応を社会から求められるようになったことがあります。私たちヘルスケア専門職には、これまで以上に人々の真のヘルスケア・ニーズを見極め、尊重し、健康な生活を享受する権利を護ることが求められているように思います。

真のニーズを他者と共有するためには、共感力を含む高いコミュニケーション力の獲得が必要となります。そのためには、基礎教育のみならず実践現場においても、多様な事例に関するチームメンバーとの深い対話や人々の経験に埋没した思いや考えを言語化するための力を自ら研鑽していくことも重要です。

第7回学術集会では、ヘルスケア専門職が更に人々の健康に貢献できるよう、人と人との間で交わされる対話の意義を再考し、深く探求する場を提供していきたいと考えています。

更なるプログラムの充実にも努めて参ります。

出雲の地で、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

令和6年4月



島根県立大学看護栄養学部看護学科 岡安 誠子